

先進的地域貢献大学として地域のエシカル消費をリードする

普及・啓発

地域活性化

四国大学・四国大学短期大学部

所在地：徳島県徳島市応神町古川字戎子野123-1
沿革：大正14年徳島洋服学校を創設。昭和36年に短期大学を、昭和41年に四年制大学を開学。平成4年四国大学、四国大学短期大学部に名称変更、男女共学に。平成11年に大学院開設。
学科：大学院(4研究科)、大学(生活科学部ほか3学部)、短期大学部(4学科)
学生数：大学院 50名/大学 2,337名/短期大学部 406名合計 2,793名(平成30年5月1日現在)

○事業・活動の概要

平成25年7月に徳島県と締結した「消費者教育の充実等のための連携に関する協定」に基づき、人的資源の相互交流や、徳島県が実施する消費者教育に関する事業への積極的な連携・協働を推進している。平成30年5月には徳島県が募集する「エシカル消費自主宣言」において地域のエシカル消費をリードすることを宣言している。

○四国大学消費者教育プログラム

平成30年度から全学共通科目として、「消費者市民社会」を新たに開設した。全15コマの講義を通して、契約に関する基礎知識や計画的な金銭管理、エシカル消費について学び、消費者市民社会の構築に主体的に参画するための知識を身に付けることができる。履修した学生に対して、講義の前後に意識調査を実施したところ、講義後は商品の購入に当たり、価格のみならず、社会的課題の解決を優先させる割合が増加した等、意識の変化が見られた。

○生涯学習プログラム「^{すだち}SUDAchi 講座」

四国大学と徳島県の南部地区及び西部地区のサテライトオフィスを双方向遠隔講義システムでつなぐ、「SUDAchi講座」を開講している。平成30年度前期は全8回の講義のうち、1回を「大人が知りたいソーシャルキーワード『エシカル消費』って何」と題し、フェアトレードやSDGsなどを学べる内容とした。

また、「消費生活論」の講義では、徳島県が開講する消費者大学校大学院の卒業生を招待し、学生と一緒にディスカッションを行っている。消費者問題はどの年代にも関係する問題であり、幅広い世代、多様な価値観の人々と交流し、互いに学び合うことは、双方にとってよい刺激となっている。

○高大連携

徳島県内の高等学校に対して消費者教育に関する出張講義を実施し、エシカル消費についても取り上げている。徳島県では、平成31年度までに全ての公立高校でエシカルクラブを設置することを目標に掲げていることから、高等学校からの出張講義の要望は多く、平成29年度は5校約1,300名、平成30年度は11月末時点で6校約1,300名に加え小学校1校250名に対しても実施している。

また、平成26年度は文部科学省の「連携・協働による消費者教育推進事業における消費者教育推進のための実証的共同研究」として「街角コンシューマー・カフェ」を開催し、約60名の高校生が環境や地域を思いやる消費行動や地域活性化に関するディスカッションを行った。

○地域との連携

大学内では「エシカル消費」をテーマとして実施している講座等に限らず、各学部が様々なつながりを利用してエシカル消費の活動を実施している。

例えば、短期大学部人間健康科では美波町の特産物である「ひじき」を活用した「ひじきパン」の開発や、^{ももつら}瀬浦漁港との連携で徳島県内では食用としては出回っていない「しいら」と呼ばれる魚を利用した商品の開発など、地産地消をテーマとした地域との連携を図っている。

また、四国大学クッキングクラブでは、徳島市内のショッピングモールにおいて、エシカルクッキングとして、カリフラワーやゆず等の徳島県産食材や責任ある養殖により生産された水産物であることを示すasc認証のある魚を使った惣菜の試食会を実施しており、地産地消の推進と、新しいメニュー提案によって、野菜離れが進む若い世代の健康意識の向上を図るなど、消費者教育の場に限らず、エシカル消費の普及・啓発を実施している。



○目指すべき姿

エシカル消費の第一歩は「知ること」であると考え、実際の商品を見せたり、学生がイベントに参加する機会を設けるようにしている。エシカル消費は遠い場所の話ではなく、身近な話であり、いかに自分のこととして捉えてもらうかが重要である。

また、「消費生活論」を履修した学生が小学生に対して、実店舗の売り場においてエシカルな視点で販売されている商品について説明を行う「エシカルガイド」を開催し、エシカル消費の普及についても積極的な取組が始まっている。

消費生活について学んだ学生の中には、徳島県消費生活審議会の公募委員として意見を述べたり、文部科学省が実施している「トビタテ！留学JAPAN」制度を活用して、エシカル消費の市場調査を実施するため、エシカル消費の考え方が日本よりも浸透しているドイツへ6週間留学したりするなど、エシカル消費を普及する場への参画や学習に積極的に取り組んでいる学生もいる。

公表日：平成31年2月4日 取材：平成30年7月
外部リンク：<https://www.shikoku-u.ac.jp/ethical/>



○今後の取組

エシカル消費を始めとした消費者問題に関する専門的知識や資格を有する学生の育成として、「生活科学部生活科学科」の消費生活に関連する科目を体系化し、消費生活相談員資格及び消費生活アドバイザー資格の取得を目指すことができるカリキュラムを設定した。平成31年度の入学生から履修することができ、大学3年生の時点で受験に必要な知識が習得できる。